



岩手山・八幡平
静かな雪原パノラマ

乳頭山 雪山登山

瀧澤

はじめての東北雪山に挑戦。なんといつても深い雪景色は「美しい」という言葉に尽きる。下山後の乳頭温泉は心と体を芯から癒してくれた。

12月30日(木)曇りのち雪

世間は師走のあれこれで忙しい中ひそかに雪山登山の計画を企てた。東北の山に登るという計画だ。笹岡さんが出張で岩手にいるということだったので栗原さんはでは乳頭山ではいかがと提案をして下さった。東北の雪を踏むのは4年前の福島スキー以来だった。今回は前回の茂倉に比べ積雪量が多かったのでスノーシューを使うことに。

盛岡駅に到着すると一面雪景色。前泊でビジネスホテルにお世話になり、6時に盛岡集合。笹岡さんは慣れた手さばきで雪道を運転。一時間半ほどで乳頭温泉に到着。いくつかの温泉宿が立ち並び、その一番奥に登山駐車場がある。10台ほどだろうか、ほぼ満車状態だったが何とか駐車できた。駐車場からは山スキーを担いで山に向かう先客がいる。我々も支度をし、スノーシューをはい

ていざ出陣。途中ビーコンチェックを行い、操作や電波状況を確認。登山口まで200mほど歩き、急斜面を登ることに。先輩お二方はスムーズに登って行ったので私も続いたが、全く登れないのである。雪に足を取られ、二人が残したトレースに足をついてもひどく足は沈むし前に進まない。そんなことに必死になっていると見かねた栗原さんが荷物を分担するという指示を出してくれた。栗原さんと笹岡さんに食材やバーナーなどを持っていていただき何とか歩き始めることができた。栗原さんにストックを借り、大分浮力が向上した。雪質も標高が高くなるにつれ硬くなり、歩きやすくなった。スキーヤーのトレースに導かれ、頂上を目指す。美しいブナ林を何度か通り過ぎ、時折、スノーモンスターに出くわす。



美しいブナ林

避難小屋まで5時間をみていたが雪質が硬くてのぼりやすくなったことや、スキーヤーのトレースのおかげもあり、3時間半ほどで避難小屋が見えてきた。立派な避難小屋だ。一階に出入口があるようだが雪で埋もれているので二階からはいるようだ。よじ登ってなんとかスノーシューをつけたまま登ることができた。スノーシュー。なんてよくできた道具だろう。



立派な避難小屋

小屋は二階建てでとても広い。早々に中に入り、頂上を目指すため必要のない荷物は小屋にデポ。暗くなる前に頂上まで行きたい。明日は天気が崩れるというので今日のうちに、出発。森林限界付近でやはり風が強くなり、吹雪いて

きた。グーグル、バラクラバ、帽子と、しっかりとした装備で寒さは感じにくい。登山道は雪で一切分かりにくいGPSで場所を確認しながら一步一步頂上を目指す。風は更に強くなった。先に不自然な形のスノーモンスターが現れたので標識ではないかと雪を散らすと頂上らしくはないが確かにここが頂上であった。更にここから笹森山へ通じる登山道がありすぐ先にはのぼりのコースがあったが時間も押していたし状況としては風も強いので引き返すことに。



曇ってて山頂っぽくない、乳頭山山頂にて

下りはやはりスムーズでとても早く降りることができた。小屋に戻ると私たちだけの貸切だった。茂倉同様やはり、銀マットと毛布があって自由に使っていていいらしい。これにはとても助かった。室内は -6°C 。とても寒かった。毛布のおかげで暖を取ることができたし、寝ているときの夜露もそれで防ぐことができた。夕食は前回の茂倉での杉本さん提供の鍋がとっても美味しかったので今回も鍋料理をすることに。しかし、寒すぎて頭が回らないし、調

理の段取りも悪くなる。バーナーもパワーガスだと不安定でなかなか火が安定しない。そんな中カイロはとても素晴らしいアイテムだった。気持ちもガスも良好にしてくれ満足のいく鍋を作ることができた。暗くなってしまう、お酒も尽きたので18時に就寝。

12月31日(金)晴れ

明るくなり始めた7時に起床。一体何時間寝たのだろう。二日分くらい寝たようだ。下山後はお待ちかねの乳頭温泉。栗原さんお手製のずんだもちをいただき、昨晚残った鍋をベースにお雑煮を。一足早いお正月を3人で祝った。外は晴れていてとても気持ちいい。昼過ぎには天気は崩れるという話なので簡単に身支度をし、掃除をして小屋を後にする。昨晚降った雪のせいか、トレースは全く見え無かったのでGPSを頼りに帰路へ。

はて、昨晚通ったことのない道を歩み始めたことに気づいたときは、時すでに遅し。大分下ってしまった後、昨晚乗った尾根と違うことに気づき、沢を3つも渡らなくてはならない。一つ目の沢を渡るのに苦労した。沢ひとつわたるのに非常に時間がかかる。栗原さんが丁寧にトレースを作ってくださって我々は後に続いた。こういったことを招かないように次回からは赤布を利用したいと思う。

ようやく昨日の通った道を見つけ、備え付けの赤布も発見できた。あとはひたすら降りるだけ。すると、きた時には気づかなかった光景が目の前に！！田沢湖が青空のもと、はっきり見えた。



奥に広がる田沢湖

美しすぎる光景に来年は良い年になりそうだなと、帰りに立ち寄った温泉につきりながらぼんやり考えていた。

DATA

山行日 2021年12月30日、31日

行程 一日目 盛岡駅(6:00)～乳頭山駐車場(7:30)～C1乳頭山避難小屋(12:00)～乳頭山山頂(14:00)～乳頭山避難小屋(14:40)

二日目 乳頭山避難小屋(8:00)～乳頭温泉駐車場(12:30)

地形図

メンバー 栗原(L)、笹岡(SL)、瀧澤

その他 レンタカーは盛岡駅で借りた。返却時は駅前にガスタがないので早めの給油を。